

おたる 4

OTARU CITY NEWSLETTER No.932

APR. 2026
令和8年4月号

小樽市



祝!!春の選抜甲子園出場!
北照高校野球部の皆さん
(2月18日撮影)



- 02 特集「選ばれるまち小樽」をめざして
—— 移住を支える取り組み
- 04 令和8年度予算を編成
- 06 クルーズシーズンが始まります!
- 07 あなたと一緒にまちを育てる! まち育てふれあいトーク
- 07 市政アンケートモニター制度8年度モニター募集中

- 08 「空き家」を考える
- 09 6月から5歳児健診が始まります!
- 10 情報パレット~くらし、教育文化、健康、その他
- 18 ~おたる子育てけいじばん
- 20 まちの写真館スマイル

おたる 4

毎月1日発行

発行・編集/小樽市総務部広報広聴課
☎0134(32)4111内線223、☎0134(27)4331
✉koho@city.otaru.lg.jp

小樽市役所

〒047-8660小樽市花園2丁目12番1号
☎0134(32)4111(代表)
執務時間:午前9時~午後5時20分

小樽市ホームページ

小樽市



広報番組

- ☐ テレビ
- 小樽フラッシュニュース(STV)
毎週土曜日:午前10時25分
- ☐ ラジオ
- 小樽市民ニュース(FMおたる/76.3MHz)
月~金曜日:午前9時40分ごろ
土・日曜日:午前9時53分ごろ
○明日へ向かってスクラムトライ!!(同)
第1・3月曜日:午後2時
放送翌々日の水曜日:午後7時(再放送)
※FMおたるホームページからも聴くことができます。

住民基本台帳人口

(令和8年2月28日現在)
人口:10万1963人
(うち外国人人口1299人)
男4万6118人・女5万5845人
世帯数:5万9484世帯

防災関係の連絡先

小樽市消防本部 ☎(22)9137
小樽市水道局 ☎(22)81111
小樽警察署 ☎(27)01110

当番医の診療時間

夜日を除く 土曜日	夜日を除く 土曜日	日曜日、祝日 年末年始
夜間急病センター	夜間急病センター	夜間急病センター
午前7時	午前9時	午後0時30分
午後8時	午後2時	午後6時
夜間急病センター	夜間急病センター	夜間急病センター

当番病院は、テレホンサービス(録音による案内) ☎22(2)4618または小樽市医師会のホームページで確認できます。
○サービス案内時間
土 曜 日:午前7時~午後2時
日曜日、祝日:午前9時~午後6時
※医療相談は行っていません。



2



3



1

まちの写真館 スマイル



4

- 1 2月28日、総合博物館運河館で「親子でひなまつり」を開催しました。同館のひなまつり行事では初めて親子での着付けを用意。参加した家族は「家で着る機会がないので、気軽に体験できてよかった」と話し、館内で撮影を満喫していました。
- 2 2月17日、桜町中学校で介護の仕事魅力発信事業の体験講座を開催しました。生徒は認知症の方の視点をVRで体験し、重りを付けて高齢者の不自由さも体験。「自分のおばあちゃんにも優しくしようと思う」と介護の大切さを学びました。
- 3 3月11日、「2026小樽コンシエルジュ」の笠井真実さん(写真右)と平山あずささん(写真左)が市長を表敬訪問しました。次期コンシエルジュに選ばれた二人は、「世界中に小樽の魅力を届けたい」と活動への意気込みを語りました。
- 4 2月20日、小樽看護専門学校同窓会から市へ車いすの寄付がありました。これは8年3月の同校閉校に伴い同窓会も解散するため、積み立てた会費から贈られたものです。会長の後藤一磨さんは「来庁者に使ってもらいたい」と話しました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。

フリーローン
個人事業主・法人役員向け 個人向け

ビジネス&ライフ

固定金利(保証料込)
年5.8%~
14.3%
※金利は審査のうえ決定

お使いみち自由!

【保証会社】クレディセゾン
※当金庫及び保証会社の審査結果によっては、ご希望に添えない場合がございます。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

ローンの
おまとめもOK! 個人事業主・法人役員の方の
事業性資金(創業含む)もOK!
※上記金利は令和8年3月3日現在のものです。期間中でも金利は変動する場合がございます。

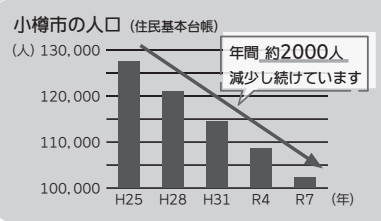
仮審査のお申込みはコチラ →

北海道信用金庫テレホンバンク
☎0120-865-634
(平日9:00~17:00)

北海道信用金庫
HOKKAIDO SHINKIN BANK
<https://www.shinkin.co.jp/hokkaido/>

特集 「選ばれるまち小樽」をめざして —— 移住を支える取り組み

小樽市の人口が毎年約2000人ずつ減少していること、皆さんはご存じでしょうか。「人口減少」という課題に向き合う中で、小樽市は「選ばれるまち」を目指し、さまざまな移住・定住施策に取り組んでいます。ここではその取り組みについて紹介します。



小樽市の人口はピーク時のおよそ半分
令和7(2025)年12月末時点の小樽市の人口は10万2355人です。人口が最も多かったのは昭和39(1964)年9月で、20万7093人。現在はピーク時のおよそ半数まで減少しています。

01 移住相談
ワンストップ窓口の設置
令和5年2月に、小樽商工会議所に委託して開設した「おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンター」。ここでは、移住を希望する方の就職先や住まいの相談はもちろんのこと、移住に伴う起業のサポート、事業承継など、移住に関係するあらゆる相談に対応しています。
移住相談だけではなく、移住者へのサポートも欠かしません。

「選ばれるまち」へ
小樽市の移住施策
小樽がこれからの魅力あるまちであり続けるためには、人口減少の進行をできるだけ抑える取り組みと、将来の人口規模に応じた持続可能な地域づくりが必要です。市では、人口減少対策として、子育て支援や就業支援など、さまざまな取り組みを進めています。ここではその中のひとつである「移住・定住の取り組み」を紹介します。

02 移住情報サイト
「笑」になるおたる
小樽市の暮らし情報をまとめて発信するポータルサイトを公開しています。イベント情報や、子どもの年齢ごとに目線で分かる子育て支援情報、移住を後押しする補助金情報、先輩移住者の経験談など、移住を検討される方に役立つ情報を掲載しています。

せん。「知り合いもいない土地に移住するなんて、とても不安」。そんな心配を解消するため、移住された方を対象としたイベントも開催しています。移住者同士で市内を散策するツアーをしたり、おしゃれなカフェやレストランに集まり、ざっくばらんにお話ししたり。このイベントをきっかけに、交流が続いている方もたくさんいます。

03 発達に気になる子どもを
対象とした「保育園留学」
「保育園留学」とは、家族が地域に1〜2週間滞在し、子どもは現地の保育園などに通い、親はテレワークで働きながら、その地域の暮らしを体験する短期留学プログラムです。
市では、北海道済生会との連携により、全国でも小樽市にしかない、子どもの発達支援を中心とした保育園留学の実施により、関係人口の創出に取り組んでいます。
通園する「発達支援事業所 ぎゅずてらす」では、あいさつ・体操・運動・制作などいくつかのテーマに沿って、毎日の活動プログラムを実施。プログラムの内容は、子どもたち一人ひとりの個性や伸ばしたいことに合わせて、作業療法士と保育士が共同で設計しています。
7年度は11組の家族が留学先に小樽市を選んでくれました。

を考えると同時に、地域の活性化にもつながっていきます。市民の皆さんと共に、これからも住みやすく魅力ある「選ばれるまち小樽」になるよう取り組んでいきます。



FMラジオによる情報発信

5年にFMラジオ局「FM NORTH WAVE」と連携協定を結び、札幌圏を中心に小樽市の魅力を幅広く発信しています。ラジオならではの「距離の近さ」や「心地よさ」を生かし、市内の魅力を



移住者の声

Name 松本 花さん
Background 静岡県出身。2024年札幌市から移住

日々の暮らしにゆったり流れる小樽時間

北海道で暮らす前は、仙台で仕事をしていました。兄が札幌にいたので、よく訪れてはキャンプで道内を回ったりしているうちに移住を考え始め、ちょうど結婚するタイミングで、転職を機に札幌で暮らし始めました。その後、他地域とのつながりを求めて参加したイベントで小樽の方と知り合うことに。小樽へは夫婦二人で何度か来ていて「良いマチだね」と思っていたことから、住まい探しを始めました。現在は、休日を家の近くの海で過ごしたり、家庭菜園を始めたり、市場で新鮮な魚を買うことも。札幌までの通勤時間がうまくONとOFFの切り替えとなって、日々の生活をより楽しんでいます。

小樽に移住を考えている人へ

小樽を訪れるうち、私は直感で「住める」と思いました。迷っている方は、ぜひ一度小樽に来てみることをお勧めします。小樽はネームバリューがあり、「小樽に住んでいる」というと、一度は行ってみたいと思ってもらえて、実際に人が会いに来てくれる、そんな魅力あるまちだと思います。



紹介したのは一部ですが、市では「移住・定住」に力を入れて取り組み続けており、小樽市への移住者は着実に伸び、5年度は56人、6年度は46人の方が移住しました。移住施策は、新しい暮らし

を考えると同時に、地域の活性化にもつながっていきます。市民の皆さんと共に、これからも住みやすく魅力ある「選ばれるまち小樽」になるよう取り組んでいきます。

お問い合わせ先 企画政策室 ☎ (32) 4111 内線 273 ㉓ (22) 6727

8年度予算の内訳

一般会計	7年度	8年度	増減額	市民一人当たり
民生費～福祉など	271億6646万円	278億7916万円	7億1270万円▲	27万3300円
土木費～道路や除雪など	76億2653万円	85億9996万円	9億7343万円▲	8万4300円
衛生費～健康や衛生など	55億8297万円	71億9983万円	16億1686万円▲	7万600円
総務費～行政運営のため	52億3781万円	53億3762万円	9981万円▲	5万2300円
教育費～教育のため	33億6589万円	29億4295万円	4億2294万円▲	2万8900円
商工・労働・農林水産業費～産業の振興など	17億5090万円	16億2879万円	1億2211万円▲	1万6000円
公債費～借入金の返済に	47億2856万円	46億3131万円	9725万円▲	4万5400円
職員給与費～職員の給与など	83億9535万円	91億8906万円	7億9371万円▲	9万100円
その他～議会費・消防費など	23億2150万円	6億8605万円	16億3545万円▲	6700円
一般会計の合計	661億7597万円	680億9473万円	19億1876万円▲	66万7600円

特別会計	7年度	8年度	増減額
港湾整備事業特別会計	5億8409万円	6億4999万円	6590万円▲
水産物卸売市場事業特別会計	4048万円	4210万円	162万円▲
国民健康保険事業特別会計	125億6160万円	121億9615万円	3億6545万円▲
介護保険事業特別会計	155億3925万円	156億9484万円	1億5559万円▲
後期高齢者医療事業特別会計	26億610万円	29億6660万円	3億6050万円▲
特別会計の合計	313億3152万円	315億4968万円	2億1816万円▲

企業会計	7年度	8年度	増減額
病院事業会計	160億1525万円	161億1265万円	9740万円▲
水道事業会計	54億2901万円	56億7732万円	2億4831万円▲
下水道事業会計	70億1300万円	68億7677万円	1億3623万円▲
産業廃棄物等処分事業会計	1億6616万円	1億7065万円	449万円▲
簡易水道事業会計	1億6204万円	1億5435万円	769万円▲
企業会計の合計	287億8546万円	289億9174万円	2億628万円▲

歳入の内訳

自主財源
市税
152億8430万円
[7億2770万円▲]
諸収入
16億2939万円
[11億2775万円▲]
使用料・手数料・繰入金など
59億9367万円
[4億9460万円▲]

依存財源
地方交付税
162億1500万円
[3億3200万円▲]
国庫支出金
139億7858万円
[5億4729万円▲]
市債
62億2760万円
[4億9770万円▲]

道支支出金
44億1066万円
[1億892万円▲]
その他(地方譲与税・交付金など)
43億5553万円
[3億3830万円▲]
一般会計歳入の合計
680億9473万円

【】は7年度との増減額

令和8年度予算を編成

3月に行われた市議会第1回定例会で、8年度予算案が可決されました。予算のテーマは「変化の時代にしなやかに応え、活力と安心が調和するまちづくり」。今回は、その予算概要と、主な事業についてお知らせします。

8年度の予算編成に当たって

人口減少、少子高齢化、外国人住民と観光客の増加、デジタル化の進展など、社会の変化は加速しています。本市が直面する新たな課題にしっかりと対応し、「歴史」や「港」などの強みを両立したまちづくりを進められるよう、新年度予算において、最重要課題である「人口対策」をはじめ、6つのまちづくりの視点で編成を行いました。

「人口対策」

「子育て」「しごと」「移住」を3つの柱とし、妊娠前から子育て期までの切れ目のない子育て支援の充実、創業・就業・事業継承への支援や、企業の人材確保の強化、移住促進と関係人口の創出を推進します。

【次世代を見据えたまちづくり】
脱炭素社会の実現に向けた支援や、デジタル技術の活用による行政手続の市民サービス向上のほか、官民連携による地域課題の解決に向けた取り組みを推進します。

「魅力を活かしたまちづくり」

「港」の強みである「歴史」や「港」の強みにより、地域ブランド力を向上し、文化と経済、観光の好循環を実現します。

【企業を誘致し出すまちづくり】
「活字を生み出すまちづくり」を進捗促進や小樽港の利用促進、宿泊税を活用した観光地域づくりと誘客促進など、地域の活性化を後押しします。

【安全・安心なまちづくり】
消防、防災、除排雪体制の充実や救急医療体制の確保、ヒグマ被害への対応のほか、障がいのある方など支援が必要な方へのサポートの充実を図ります。

「暮らしを支えるまちづくり」

地域公共交通の維持や安全で快適な住環境の整備、市民の皆さんの健康づくりに取り組むほか、物価高騰の影響を受けている方々を支援します。

本市を取り巻く環境変化に柔軟に、的確に対応しながら、市民の皆さんが安心して暮らし続けられる、持続可能で活力あるまちの実現に取り組んでいきます。

小樽市長 迫 俊哉

8年度予算の概要

8年度予算の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた一般会計の総額は128億6361万5000円、7年度の当初予算と比べると23億4320万円(1.9%)増加しました(5ページを参照)。このうち、市の基本的な会計である一般会計の予算額は680億9473万円で7年度と比べると19億1876万円(2.9%)増加しました。8年度の予算編成では、市税や地方譲与税、地方交付税

などの歳入は増加する見込みとなり、また、労務費の上昇や物価高騰の影響などを受けて歳出も増加したことなどから、予算額は7年度と比べ増額となりました。

建設資材の高騰など、歳出増加要因の拡大が当面続くと見込まれますが、施策の優先順位や成果、効果などを十分に考慮し、安定的な市民サービスが提供できるよう取り組んでいきます。

【お問い合わせ先】 財政課 ☎23(4)111内線2311234、☎23(4)0675

8年度に行う主な新規事業

こども誰でも通園制度を実施

生後6カ月から満3歳未満の保育所等に通っていない子どもを対象に、就労等の要件を問わず、時間単位で保育所等を利用できる乳児等通園支援事業を実施【乳児等のための支援給付費 / 1966万1000円】

中学校で和楽器に触れる機会を

箏などの伝統的な和楽器に触れる機会の充実を図るため、中学校の授業にかかる経費を支援【文化芸術体験推進事業費 / 60万円】

農業を始める人を応援

対象地域において新規就農する方に対し、農地の取得経費や農業用資機材の購入経費など、初期費用の一部を補助【新規就農者支援事業費 / 200万円】

企業の認知度向上を支援

工場見学の環境整備などにかかる費用の一部を補助【企業認知度向上支援補助金 / 300万円】

省エネ家電の購入を補助

家庭におけるエネルギー費用の負担軽減と温室効果ガス排出量の削減を図るため、対象となる省エネ家電等を購入した方に対し、購入費等の一部を補助【省エネ家電転換促進事業費 / 5199万8000円】

ヒグマ被害への対策

増加するヒグマによる人身被害の防止や農業被害の軽減を図るため、ゾーニング管理に基づく捕獲や緊急統制に必要な体制を整備【ヒグマ対策事業費 / 1704万9000円】

歴史ある景観づくりを推進

歴史的建造物のライトアップを整備するほか、新たに整備するエリアの検討等を目的としたワークショップや実証実験を実施【令和版ロマネスクイールミネーション事業費 / 614万9000円】

地域DMOによる観光振興

地域DMOである小樽観光協会が観光地域づくりの司令塔として取り組む戦略的なプロモーションやマーケティング、組織体制の整備などの費用を総合的に支援【地域DMO交付金 / 1億4371万円】



あなたと一緒にまちを育てる！ まち育てふれあいトーク

▼詳細はこちら
 詳細 広報広聴課 ☎(32)4111内線394、☎(27)4331、☎047-8660・花園2-12-1、✉kotyo@city.otaru.lg.jp



職員が市の取り組みをお話しし、市民の皆さんの声を市に届ける情報交換の場「まち育てふれあいトーク」。子育てや福祉といった身近な生活に関する内容など、80種類以上のメニューの中から選ぶことができます。



時間
 原則、祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時～午後5時のうち、2時間以内



料金
 無料



会場
 ・用意：申し込みグループ側で手配
 ・利用料金：申し込みグループ側で負担



申し込み
 希望日の3週間前までに下のいずれかの方法で申し込み
 ・右の申し込みフォーム
 ・ファクスまたは郵送、メールで申込書を広報広聴課へ提出
 ※申込書は市ホームページで入手できます。



対象
 原則、10人以上のグループ



市政アンケートモニター制度 8年度モニター募集中

▼応募要件など
 詳細 企画政策室 ☎(32)4111内線274、☎(22)6727



皆さんの声をまちづくりに

市政やまちづくりの参考とするために、令和7年度から会員登録制のアンケート制度「市政アンケートモニター制度」をスタートしました。この制度は、事前にモニターとして登録した方が、スマートフォンなどからインターネットで市政に関するアンケートに回答するもので、アンケートの結果は市ホームページで公開しています。ぜひモニターに登録して、市政に対するご意見をお聞かせください。



デジタルギフトをプレゼント

任期中にアンケートの半数以上に回答した方へ、500円分のデジタルギフトを進呈します。メールで受け取り、電子マネーなどに交換して、買い物に利用することができます。

7年度に寄せられた声を市政に反映しました

▶広報に関する満足度・ニーズ調査
 広報おたるの文字が小さくて読みにくいと感ずることがあります。
 7年11月号からフォントを、12月号から文字の太さや行間を見直しました。
 このほか、小樽市総合計画や証明書のコンビニ交付サービスについてのアンケートを実施しました。

応募はこちら

募集期間 4月30日(木)まで
 対象 市内に住居登録のある18歳以上の方で、インターネットを利用できる環境がある方
 応募方法 上の二次元コードから市ホームページの応募要件を確認し、応募フォームへ

ラグジュアリー船の寄港が増加

クルーズ船には、カジュアル・ブレミアム・ラグジュアリーなどのランクがあり、小樽港では近年、ラグジュアリー船の寄港が増えています。ラグジュアリー船は、乗客1人当たりの乗員数が多く、サービスが行き届くことや、広いスペースがゆとり過ごせる中小型船が多いのが特徴です。寄港形態はさまざままで、港で乗客・乗員の入れ替えを行うターナーアワードや、1泊以上するオーバーナイトなどがあります。乗客は、ほとんどの方がツアーに参加し、その土地ならではの体験や現地の人との触れ合いを楽しんでいます。小樽港は市街地へのアクセスも良く、徒歩で観光に出かける乗客も多くいます。

道内随一のクルーズ発着港

札幌や新千歳空港へのアクセスに優れる小樽港は、道内随一のクルーズ発着港であり、小樽発着のロングセラークルーズ「飛んでクルーズ北海道」でおなじみの「にっぽん丸」に加え、令和7年から「飛鳥II」も小樽発着クルーズを実施しています。発着クルーズは港での滞在時間が長いことから、通常よりも滞在中の消費が大きくなることが期待されます。

話題の船が続々と

8年は、日本初配船で話題の「SHミネルバ」をはじめ、ラグジュアリー船の寄港が大半を占めるなど、小樽港への注目も高まっています。8年は「にっぽん丸」の後継船の就航時期が秋口となるため、「飛んでクルーズ北海道」は一時休止、寄港予定数は19回と減少しますが、9年は今年より多くの寄港予約があります。

◆ 今後市民の皆さんとともに、クルーズ船の受け入れ態勢を整えつつ、乗客の皆さんが楽しめる観光コンテンツを充実させることで、さらなる小樽港の魅力向上を目指していきます。

お問い合わせ 港湾振興課 ☎(23)1107、☎(23)1109

クルーズシーズンが始まります！

本格的なクルーズ船のシーズンを迎える4月。市民の皆さんがよりクルーズを身近に感じられるよう、小樽港に寄港する船の特徴についてお知らせします。



令和8年クルーズ船寄港予定 (小樽港第3号ふ頭停泊)

★：ラグジュアリー船

3月	
★ ル・ジャック・カルティエ	29日(日)午前7時～31日(火)午後6時
4月	
ウエステルダム	23日(木)午前8時～午後5時
5月	
★ バイキング・ビーナス	9日(土)午後6時～10日(日)午後6時
コスタ・セレーナ	14日(木)午前7時30分～午後5時30分
★ バイキング・オリオン	28日(木)午後6時～29日(金)午後6時
★ SHミネルバ (初寄港)	30日(土)午前8時～31日(日)午後6時
6月	
★ ハンセアティック・インスピレーション	5日(金)午前7時～午後8時 21日(日)午前6時～午後10時
コスタ・セレーナ	22日(月)午後2時～23日(火)午後5時
★ 飛鳥II	28日(日)午前9時～午後5時
7月	
★ 飛鳥II	1日(水)午前9時～午後5時 5日(日)午前8時～午後5時
8月	
★ 飛鳥III	1日(土)午前8時～2日(日)午前10時30分
パシフィック・ワールド	10日(月)午前7時～午後5時
9月	
★ SHミネルバ	1日(火)午前8時～午後6時
★ バイキング・ビーナス	23日(水)午前8時～24日(木)午後2時
★ 飛鳥III	26日(土)午前8時～午後5時
10月	
カーニバル・ルミノーザ	3日(土)午前7時～午後5時
★ バイキング・オリオン	12日(月)午前8時～13日(火)午後2時



6月から 健康診査 5歳児健診が始まります!

【詳細】 こども家庭課 ☎(32)5208、☎(32)8388

▼詳細はこちら



対象 令和8年度（4月～9月3月）に満5歳になる子ども

実施時期 6月～9月1月（8カ月間）

案内送付 健診予定月のおおむね1カ月前～2カ月前に個別に郵送

注意!! これまでの健診とは異なり、各健診日の定員数で振り分けのため、誕生日が同じでも、同じ健診日にならない場合があります



5歳児健診ってなぜ必要なの?

5歳児は言葉を理解する能力や社会性が高まり、発達状況がよくわかる時期です。幼稚園・保育所などでは年中となり、お友達とルールのある遊びをするなど、集団生活ができるようになってきます。

これから年長を経て、小学校に楽しく安心して通学するために、順調に成長・発達しているかを小児科医や保健師、保育士、発達相談員などの専門職が確認することで、子どもの健康な成長と発達を守ります。

また、子どものことで何か心配なことや困っていることがあれば、専門職と一緒に考えて、どのような対応が子どもにとって一番良いのかを相談することもできます。



5歳児健診ではどんなこともあるの?

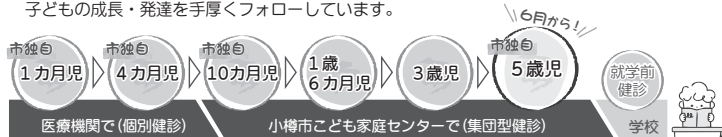
これまでの健診と同じように成長や発達、生活リズムなどについて確認し、身長・体重測定や、目・耳の様子もお聞きします。

発達については、ルールのある遊びなどをとおして、同年代の子と協力して遊べるか、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちをくみ取ったりできるかなどを確認します。



小樽市の乳幼児健診ってどんな種類があるの?

法律で定められている健診に加え、市が法律に基づき独自に行う健診も実施することで、子どもの成長・発達を手厚くフォローしています。



5歳児健診 はこちらでも紹介しています!



母子モ
成長のきろくや地域のイベント、予防接種の管理ができる便利なアプリ!



子育て支援課Instagram
おたのこそだて日和
小樽市の子育て支援情報やイベント情報などを発信!



「空き家」を考える

【詳細】 建築指導課 ☎(32)4111内線7430、☎(32)3963

▼詳細はこちら



増え続ける空き家

全国的に空き家が増え続けており、使用目的のない空き家の数はこの20年間で約2倍に増加しています。令和5年に総務省が行った調査では、本市の空き家率は17.4%で約6軒に1軒が空き家であるとされています。

空き家の管理責任

空き家を適切に管理せず放置すると、強風で外装材や屋根材が飛んだり、地震や積雪により倒壊したりする危険性が高くなります。通行人や近隣の家屋に損害を与えてしまうと、損害賠償責任を問われる可能性もあります。どのような事情であれ、空き家の所有者にはきちんと管理する責任があります。

空き家の終活

空き家の発生原因は、半数以上が「相続」によるものです。親族が元気なうちによく話し合い、方針を決めておくことが重要です。空き家は放置される期間が長くなればなるほど、老朽化や損傷が進み、売買や賃貸などが難しくなってしまいます。相続等により空き家を所有し将来使用する予定のない人は、早めに「売る」「貸す」「解体する」などの方針を決め、方針に合ったサービスを活用して実行に移しましょう。

専門家に相談しましょう

市では市内に空き家を所有している方やその親族の方を対象に、セミナーや個別相談会を無料で開催します(右上の囲みを参照)。セミナーでは専門家を招きテーマごとの講話を聴くことができるほか、相談会では「売りたい」「貸したい」「解体したい」など、相談内容に応じて専門家(司法書士、行政書士、宅建士、建築士等)に個別に相談することができます。

補助制度を活用しましょう

市では、危険と判定された空き家を解体する費用の一部を補助しています(右の囲みを参照)。工事の内容や施工者等の条件がありますので、工事契約前にお問い合わせください。

空き家対策セミナー ・個別相談会

5月23日(土)

【セミナー「空き家の問題と終活について」】

時間 午前10時～11時
講師 鈴木千逸氏(行政書士)
定員 50人(先着)

個別相談会

時間 午前11時～午後1時
(1組20分程度)

ところ 市民会館

対象 市内に空き家を保有する方、これらに保有する可能性のある方

申し込み

5月13日(水)までに市ホームページの申し込みフォーム、または、建築指導課へお問い合わせください

特定空家等住宅除却費補助金交付制度

補助額

除却工事費の3分の1
(限度額30万円)

対象者

・住宅の所有者または相続人
・市税に滞納がない方 など

対象となる空き家

・市が現地を確認し危険な状態と判断した建物
・他に補助を受けていない など
※先着順、予算額に達したら終了。